

キャンドルのつどい



活動内容	静かな暗闇の中、仲間たちと火を囲みながら厳肅な雰囲気の中でつどいを行ったり、レクリエーションで親睦を深める活動です。火が持つ明るさや暖かさを感じることができ、火の神秘的な雰囲気を体感することができます。
------	---

対象	必要時間	活動人数	活動形態	
制限なし	1. 5～2時間	150名程度	全体	
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性	創意工夫 ○
集会室、第1・2研修室 プレイホール	巡視・安全管理	通年	主体・計画 ◎	協調・協働 ○
			粘り強さ	人間関係 ◎

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」職員	
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所	
		【準備】シート敷き、燭台設置、放送器具の点検、貸し出し物品の確認 【指導】燭台への点火の仕方、つどいの流れの確認		
		16:30キャンドルのつどい準備打合せ参加 貸出物品の受け取り	16:30キャンドルのつどい準備打合せ 貸出物品の受け渡し	
	活動（例）	【集合】活動場所	活動費を支払った場合のキャンドル本数 プレイホール 大1本 中21本 小6本 集会室 大1本 中18本 小6本 第1・2研修室 大1本 小15本	
		①第一部「迎火のつどい」（20分） ・燭台のろうそくへの点火 ②第二部「交歓のつどい」（60分） ・レクリエーション、歌唱 ③第三部「送火のつどい」（20分） ・燭台のろうそくの消火、閉会	※上記は燭台に設置できる本数となつて い ます。団体で用意・持参される場合は 参	
【その他活動例】 ・手紙 ・ふりかえり ・暗闇体験				
事後	【解散】研修生は引率者の指示に従う			
	【片付】会場の整理、物品の返却	【片付】物品の受け取り		

引率者の役割	・16:30から実施会場にて、活動準備のための打ち合わせを玄海の家職員と行う。 ・活動中、火傷や暗闇での転倒がないよう巡視を行い、有事の際は事務室へ連絡する ・貸出物の受取、返却を行う。紛失や破損があった場合は、職員へ報告する
活動の留意点	・ろうがシートに垂れた場合は、ほうきで集め燭台上のろう入れの中に入れる ・髪や衣類に火が燃え移らないように適切な服装で活動するよう指導する ・キャンドルは、玄海の家で購入できるが持参してもよい
「玄海の家」で準備できるもの	燭台、シート、キャンドル、火の長・女神の衣装、燭台付き杖、分火用手持ち燭台 コードリール、ポータブルデッキ、ラジカセ 資料（火の長の言葉、誓いの言葉、詩の朗読）、ピアノ（プレイホール、集会室）
利用団体で準備するもの	活動費（ろうそく代を含む） 集会室、プレイホール：900円、第1・2研修室：550円 チャッカマン、キャンドル、音源CD等出しものに必要な物